



火災通報装置の誤作動

について

—西日本防災システム

自動火災報知設備の誤報ではないのですが こんな事が!

NBS119

ある医療関係の施設での事件です。 **火災通報装置の子機**は各ナースステーションに設置

するように新築時に指導が入る場合が多いのですが、たまたまこの病院のこの詰所では、

通報装置の**子機**の設置位置が悪く、普段の仕事の流れの中で干渉してしまう位置にありました。

このボタンに当たると大変だよー なんて言いながらお仕事をされていたのですが、**ついに!**

その瞬間がやって来たようです。

万が一誤って起動させても

落ち着いて対処して

いただければ問題は無いのですが



※B
通話割込みボタン

※A
起動ボタン

今回は!

起動させても 事後処理をせずに **放置!** してしまいました。

結果は!

消防隊が**6台**ほど連なって来て頂く という悲惨な結果になりました。

最も心配なのは この誤通報騒ぎの間に 本当の火災が発生した場合、そちらが手薄になることです。

誤作動の場合 放置 は絶対 いけません!

対策は?

万が一起動押しボタンを押してしまった場合は

上図 **B**の白いボタンを押してください。 回線に接続される前でしたら キャンセルできます。

回線に接続され、指令に繋がってしまった場合は 子機の受話器を取り、**通話割込みボタン**を押して

直接指令のかたに、誤作動であることを説明してください。**必ず!**

★ **この事件のあと 子機を移設しました**



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社Top Pageへ ➡



火災通報装置の誤作動

について

—西日本防災システム

火災通報装置と自動火災報知設備の連動（平成27年4月1日施行されました）が施工された防火対象物では

自動火災報知設備の誤報が発生した場合は、上記と同様の状況が発生します。

誤作動の場合 **放置** は絶対 いけません！

誤作動の場合 逆信を取って 「 今のは 誤報です！ 」

「誤報の対処をしています！」

と 必ず指令のかたに伝えてください！



ここにも注意！

一旦火災報知機の信号が通報装置に入りますと **連動停止** ボタンを
押しても遮断することはできません



西日本防災システム
NISHINOH BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社Top Pageへ

